

論文概要の和文様式

雑誌におけるタイトル:

産業医科大学におけるエコチル調査の成果

和文タイトル:

産業医科大学におけるエコチル調査の成果

ユニットセンター(UC)等名: 福岡UC

サブユニットセンター(SUC)名: 産業医科大学SUC

発表雑誌名: 産業医科大学雑誌

年: 2020 月: 9 巻: 42 (3) 頁: 275-279

筆頭著者名: 辻 真弓

所属UC名: 福岡UC

目的:

現在までに発表されたエコチル調査の成果発表の紹介を目的とする。

方法:

産業医科大学の研究者が現在までに発表したエコチル調査の成果を紹介する。

結果:

環境保健, 産業保健, 母子保健の各領域に関する研究成果(妊婦の血液中重金属濃度と早産, 前置胎盤・癒着胎盤や特異的IgE抗体との関係について、職業の違いによる栄養素摂取状況, 労働因子と食行動の関係, 出産前の職種・就業形態が出産前後の就業継続に与える影響, 妊婦の就労とストレスの関係、妊娠中の睡眠時間と妊娠糖尿病発症リスク, 6ヶ月時の運動発達遅延の有無と3歳までの発達の関係)がそれぞれ発表されている。

考察:(研究の限界を含める)

大規模調査からしか得ることのできない成果があり、研究者はエコチル調査から得られた知見及び成果を社会に還元することが重要である。一方でエコチル調査のみでは曝露経路や疾患発症のメカニズムを明らかにすることはできないため、疫学研究と実験研究の両方の視点から検討していく必要がある。

結論:

臨床医学・基礎医学・産業保健学の連携していくことで、エコチル調査 疫学研究の更なる継続と発展、また疫学研究と実験研究の融合によるエビデンスの構築・発信が期待される。